

国際テクノロジーニュース

－自動運転について－

2022 年 8 月

1, 無人自動運転タクシー（中国）

中国の Financial Associate Press (<https://www.cls.cn>) のニュースによると、中国では、湖北省武漢市の経済技術開発区と重慶市の永川区において 8 月 8 日から無人自動運転タクシーの正式営業が始まった。

中国で最大の検索エンジンを提供する会社である百度（Baidu）は、重慶市と湖北省武漢市の両政府から無人運転実証運営資格を取得したうえ、8 月 8 日から、重慶市では永川区の特定エリア（30 平方キロメートル）で営業車両 5 台、武漢市では経済技術開発区の特定エリア（13 平方キロメートル）で営業車両も 5 台、タクシー車内にドライバーやサポートスタッフなしの完全無人の自動運転タクシーサービスを提供している。

百度（Baidu）は、遠隔的な冗長監視や安全運行管理など複数の対策を通じて、乗客の安全を確保するために最善を尽くしている。また、安全運行については、遠隔監視側から一対一の即時対応を行っている。

2, 10 か月間で 390 件以上の自動運転事故が発生（米国）

2022 年 6 月 15 日、米国道路交通安全局（NHTSA）は、レベル 2 の先進運転支援システム(ADAS)の運転事故に関するデータを発表した。

米国の National Highway Traffic Safety Administration の公告によると、2021 年 7 月 1 日から 2022 年 5 月 15 日までの約 10 か月間に、レベル 2 の ADAS に関連する事故が 392 件発生した。このうち、約 70%（273 件）は、テスラ車（Tesla）が関係する事故であり、これらの事故時にオートパイロット（Autopilot）システム又は FSD（Full Self-Driving）ベータシステムがオンになっていた。また、ホンダ車（Honda）は 90 件、スバル車（SUBARU）は 10 件発生しており、それぞれ事故件数 2 位、3 位となった。BMW、フォード（Ford）、GM、フォルクスワーゲン（Volkswagen）、トヨタ（Toyota）などの他の自動車メーカーの事故件数はそれぞれ 5 件未満であった。

米国には約 83 万台のオートパイロット（Autopilot）を搭載したテスラ車があり、車両の総数が多くて、他の自動車会社に比べて事故も多かった。